



【産地賞とは】

茶種ごとに審査成績が優秀な市町村に対して贈られる褒賞。同一の市町村から3点以上の出品があり、審査成績の上位3点の合計審査点をもって決定される。

今年4月の摘採の様子(相藤農園)

2年ぶりの快挙！

全国茶品評会 産地賞受賞

日本茶産業の未来を見据え、茶業のさらなる発展を目指して開催される全国茶品評会は、今年で79回目を迎えました。奈良県奈良市で行われた審査会には、全国から800点以上が出品され、普通煎茶4キの部において、相藤農園の相藤直紀さんが見事、最高位の農林水産大臣賞を受賞しました。

成績優秀な市町村に贈られる「産地賞」も、普通煎茶4キの部で令和5年以来2年ぶりとなる17回目の「日本一」を獲得しました。川根茶の高い品質が再び全国で証明され、町全体が大きな喜びと誇りに包まれました。

近年の気候変動により生育条件が変化する中、茶農家が知恵と工夫を凝らし、丁寧なお茶づくりに取り組んできた努力が結果につながりました。

第79回全国茶品評会 審査会結果

普通煎茶4キ口の部(手摘み)			普通煎茶10キ口の部(機械)	
1等	1席	農林水産大臣賞 相藤農園 相藤 直紀 さん	2等	丹野園 丹野 浩之 さん
	3席	農林水産省農産局長賞 相藤園 相藤 令治 さん		
2等		つちや農園 土屋 和明 さん	3等	川根たっちゃん農園 橋本 立生 さん
3等		松島園 川崎 好和 さん		



子どもたちが 自慢できる茶業へ

丹野園
丹野 浩之 さん

22年前に手摘み部門で農林水産大臣賞を受賞し、機械摘み部門でも日本一を目指し、多くの方々の支えを受けながらお茶栽培を続けてきました。

今回の産地賞受賞は「川根本町」という名前が全国に知られる大きな成果です。これをきっかけに町のお茶業界全体が一層盛り上がり、子どもたちが誇りを持てる「川根本町のお茶」をこれからも作ってきたいです。



川根茶の産地を ずっと残したい

つちや農園
土屋 和明 さん

町内の茶農家はライバルでもあり、いいお茶を作りたいという同じ思いを持った同志でもあります。高齢化などで茶農家が減少する中、全国茶品評会で上位に入ることによって「川根本町」という名を全国に残し、川根茶の産地を継承したいという思いで出品を続けています。

来年に向けて茶農家同士で情報共有をし、みんなでさらに上位を目指したいです。



自分が川根茶を 継承していきたい

川根たっちゃん農園
橋本 立生 さん

茶農家になって11年目になります。茶農家の高齢化が進む中、自分が川根茶という産業・文化を受け継いでいきたいという思いで挑戦しました。

まだまだお茶の栽培方法で分からないことが多いですが、先輩にアドバイスをもらいながら、川根茶の良さを100%引き出せるお茶づくりを目指しています。

3等という結果に満足していません。来年は今年よりも上位を取れるよう課題と向き合っていきます。



品評会はお茶を学ぶ場

松島園
川崎 好和 さん

先人たちが築いてくれた品評会の栽培・製造の技術を継承し、さらに磨きをかけ、今年も大臣賞・産地賞を受賞してくれた方々へ感謝します。

品評会は、栽培・製造技術を学ぶ場と捉え、長年にわたり挑戦を続けてきました。

これからも多くの皆さまのお力添えをいただきながら、理想のお茶を追求し品評会への出品を続けられたらと思います。

この度の農林水産大臣賞受賞にあたり、私のお茶づくりの歩みを振り返ると「多くの方々の支えがあってこそ」と改めて感じます。

父が亡くなった頃、数年間は入賞から遠ざかり、悩み続けた時期もありました。そんな時、先輩や農協などの関係者の方が相談に乗ってくださり、その助言をもとに栽培・製造技術を磨くことができました。今回の品評会においても、町の全国茶品評会対策会議では、先生方からお茶の味や香りを左右する大切な摘採時期などについてアドバイスをいただきました。こうした昔から今に至るまで、多くの皆さんの支えがあって、日本一という栄誉をいただくことができました。

今回の受賞は大きな喜びである一方、これからのお茶づくりにおいて決して手を抜けないというプレッシャーも感じています。来年は今年以上に良いお茶を作り「川根茶」の伝統を守り続けていきたいと思っています。

全国茶品評会で農林水産省農産局長賞を受賞し、さらに産地賞にも貢献できたことをうれしく思っています。この成果は、お茶栽培に関わる全ての方が真剣にお茶づくりに向き合い、技術向上に努めた結果です。

今年は特に厳しい気象条件の中で、病虫害の被害に遭わず順調にお茶を育てることに苦労しました。生育状況をこまめに観察し、その時々に合わせて対処することが求められました。こうした状況の中、茶農家同士で情報交換をし、お互いに助け合いながら栽培方法を工夫しました。その結果、川根茶らしい爽やかな香りで、渋みとうま味、甘味のバランスが見事に調和した出品茶を作ることができました。

品評会は、第三者からお茶の品質を認められる唯一の舞台として大切な場です。今後も品質向上を目指し、先輩から受け継いできたものを次世代に引き継げるよう、さらなる挑戦を続けてまいります。



周りの支えがあって こそ「日本一」

相藤農園 相藤 直紀 さん



関わってくれた みんなで取った賞

相藤園 相藤 令治 さん